

第 1 回教育委員会会議録

日 時	平成 28 年 1 月 27 日 開会 13 : 30～閉会 15 : 30
会 場	教育長室
出 席 者	山 田 律 子 委員長 佐々木 義 朗 委員 荒 井 由紀恵 委員 明 石 光 正 委員 宮 崎 肇 教育長
参 与	島 倉 弘 行 教育部長 澤 田 徹 教育部次長 西 野 典 男 教育部次長 (学校指導担当) 荒 川 裕 昭 企画総務課長 渡 邊 誠 司 学校教育課長 安 榮 智 裕 主幹 (学校指導担当) 高 橋 理 埋蔵文化財センター長
書 記	北守 企画総務課総務係主事
議 題 及 び 議 事 の 概 要	別紙のとおり

議題及び会議の概要

委員長	<p>ただ今から、平成 28 年第 1 回教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>本日の議案中、議案第 2 号千歳市文化財保護審議会委員の委嘱について及び、第 3 号平成 28 年度教育予算については、個人情報あるいは意思形成過程途中のため秘密会とします。</p> <p>秘密会の件についてよろしいでしょうか。</p>
委員	一同了承
委員長	会議録の承認についてお願いします。
企画総務課長	<p>前回、12 月 24 日に開催されました第 15 回教育委員会会議は議案が 1 件、議案第 1 号平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表方法については、原案のとおりご決定いただいております。また、報告は 1 件、報告第 1 号平成 28 年成人式「はたちのつどい」の開催についてであります。</p>
委員長	会議録承認の件よろしいですか。
委員	一同了承
委員長	それでは、教育長からの報告をお願いいたします。
教育長	<p>平成 28 年 1 月 22 日に行いました定例校長会でお話しした内容についてですが、1 点目は、平成 28 年は結果を出す年ということではありますが、本年 4 月に実施される全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力調査について、改善の取組を全校一丸となって精力的に行い、必ず結果を出していただきたい。千歳市教育委員会では、平成 24 年度から教職員を委員とした学力向上検討委員会を設置いたしまして、学力向上に向けた提言をいただいております。教育委員会では、これら提言を踏まえて電子黒板などの I C T 機器の整備、あるいは学習支援員の配置など、教育環境の整備に精力的に取り組んできたところでもあります。学力テストにつきましては、北海道が目標としていた平成 26 年度全国平均は達成できていないということでもあります。すぐに大幅な結果を出すことは難しいものと理解いたしますし、各学校において先生方に頑張っていただいていることは十分認識しております。しかしながら、そろそろ結果を出すべきときであるということで、私の本年の重大な決意として受け止めていただきたい、ということでお話をさせていただきました。</p>

<p>委員長</p>	<p>2点目は、体罰防止の徹底についてであります。これまでも様々な機会に注意喚起を行っておりますが、北海道教育委員会によると、平成27年11月25日現在で、今年度は17件もの体罰が発生している。1月13日付で懲戒処分された事案では、教職員の指導監督を行う立場である学校長が児童に体罰を行うという、非常に残念な事案が発生している。千歳市においては、現在、体罰調査を行っているところであります。</p> <p>3点目は、後ほど説明がありますが、平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について、市全体の数値等を改善策も併せて公表し、公表時期は本年2月上旬を予定しております。学校ごとの公表は行いません。各学校においては、実施要領の「公表に当たっての配慮すべき事項」について考慮したうえで、レーダーチャートの活用など、わかりやすく工夫し、学校だよりやホームページでの公表を求める。北海道教育委員会が作成する「北海道版結果報告書」に千歳市の調査結果を掲載する。概要として、平成27年度全国体力テスト結果では小学校男子は全国と同様、小学校女子は全国を下回っているが男女とも前年度に比べ大幅に改善している。一方で、中学校男子は全国と同様であるが多くの種目で前年度を下回っており、中学校女子は全国を大きく下回り、ほとんどの種目で前年度を下回っている。平成28年度も千歳市としては悉皆調査といたしますので、各校においてしっかりとした対応をお願いしたい。</p> <p>4点目は、特別支援教育研修会の参加についてであります。1月12日開催の「学校で活かす場面緘黙児への支援」の参加状況は、合計120名の参加でした。参加者からは、実体験を通じた講演に、当事者目線で支援を行うことの大切さを実感したとの声が多くあった、ということでもあります。</p> <p>5点目は、平成28年度当初人事についてですが、校長及び教頭の登録状況についてはお話いたしました。</p> <p>6点目は、学校給食費収納業務への協力について、収納をしっかりとっていただきたいということでもあります。</p> <p>7点目は、平成28年度教育予算についてであります。後ほど説明がありますので、省略いたします。</p> <p>その他、連絡事項としては、今年度のセーフティラリーの結果が達成率78%で前年と同率ということ、また、2月27日開催のサイエンス会議についてであります。</p> <p>私からは以上です。</p> <p>教育長からの報告についてご質問等ございませんか。</p>
------------	--

<p>委員長</p>	<p>それでは、第1号議案の国指定史跡キウス周堤墓群保存管理計画について事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>埋蔵文化財センター長</p>	<p>議案第1号国指定史跡キウス周堤墓群保存管理計画についてご説明いたします。</p> <p>提案理由であります。国指定史跡キウス周堤墓群保存管理計画を文化庁に提出するため、本案を提出するものであります。</p> <p>保存管理計画についてでございますが、国指定史跡キウス周堤墓群の本質的な価値を損なうことなく、適切な保存管理を行うことによって次世代に継承していくための基本方針や保存管理の具体的な方法、管理体制の整備等を明らかにすることを目的としております。</p> <p>作成の経緯でございますが、平成24年12月にキウス周堤墓群が「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産になったことによりまして、世界遺産の推薦のためにも保存管理計画が必要であることから、この時から具体的な保存管理計画の作成が始まっております。平成26年3月には、北海道縄文遺跡群保存管理計画検討会議を設置いたしまして、本格的な保存管理計画の作成に入り、平成27年3月には、平成26年度第3回千歳市文化財保護審議会におきましても保存管理計画の内容をご審議いただいております。</p> <p>以上を反映したものを、6月に文化庁に提出しております。昨年12月には、提出内容に関して文化庁から修正等の指導がありまして、今回の保存管理計画を作成したものであります。</p> <p>文化庁による指導につきましては、</p> <ul style="list-style-type: none">・本文32頁 6. 今後保護すべき範囲 <p>(追加) 国有地である財務省所有地については文科省への所管換を文化庁に要望していくこととなるが、6号周堤墓、今後史跡への指定追加を検討することとなる11号周堤墓北半及び7号周堤墓、その他周辺地域の民有地については、将来的には市の公有地化を図ることによる史跡の一層の保護も考慮していくこととする。</p> <ul style="list-style-type: none">・本文34頁 8. 史跡指定地及びその周辺地域に係る関連法 <p>(追加) なお、周辺地域の環境については当面は既存の法令等で対応するが、将来的には景観条例などの制定も考慮のひとつとして、さらに前向きな保護の対策を考えていくこととする。</p> <p>という文章を付け加えるという内容でございます。</p> <p>以上の2件を反映したものが、本保存計画案でございます。</p> <p>よろしくご審議ご決定いただきますようお願いいたします。</p>

委員長	<p>議案第 1 号についてご質問やご意見などございませんか。</p> <p>一同了承（原案可決）</p>
委員長	<p>次に、第 2 号議案の千歳市文化財保護審議会委員の委嘱について事務局から説明をお願いいたします。</p>
委員長	<p>一同了承：秘密会（原案可決）</p> <p>次に、第 3 号議案の平成年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について事務局から説明をお願いいたします。</p>
学校教育課長	<p>議案第 3 号平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表についてご説明申し上げます。</p> <p>提案理由であります。平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について、本案を提出するものであります。</p> <p>公表については、地域や保護者への説明責任を果たす観点から、市全体の調査結果を、数値を用いて、昨年度の結果と比較しながら公表することとし、併せて結果分析と今後の取組についても公表します。公表予定時期は平成 28 年 2 月上旬を予定しております。</p> <p>前回の教育委員会会議で公表方法についてご説明いたしましたが、学校ごとの公表は、学校の序列化や学校間の過度な競争が生じる恐れがあること、小規模校では個人が特定されることから、教育委員会としては、学校ごとの公表は行わないこととします</p> <p>公表の概要についてご説明いたします。</p> <p>はじめに調査の概要であります。本調査は、小学校第 5 学年及び中学校第 2 学年を対象に 8 種目の実技に関する調査と児童生徒質問紙による調査を行うものです。6 の参加状況として、本市は小学校 873 名、中学校 862 名が参加しました。実技調査、体格と肥満度に関する調査、児童生徒及び学校質問紙の調査結果を数値で掲載しております。</p> <p>実技に関する調査では、小学校男子は、体力合計点が全国と同様であり、種目別に全国を上回ったものが 5 種目となっております。小学校女子は、体力合計点で 1.31 ポイント全国を下回ったものの、種目別に全国を上回ったものが 3 種目あり、男女ともに多くの種目で記録の伸びが見られました。</p> <p>中学校男子は、体力合計点は、全国と同様ですが、5 種目で前年度を下回る結果となりました。中学校女子は全国を下回り、6 種目で前年度を下回っております。</p>

	<p>体格と肥満度に関する調査では、小学校男女の身長、体重は全国平均を上回っています。男女ともに全国に比べると肥満傾向が見られません。一方で、女子の痩身傾向児の割合が前年度より 2.8 ポイント増加している状況であります。</p> <p>中学校男女も身長、体重は全国平均を上回っています。男女ともに痩身傾向児が増加していること、女子については肥満傾向児が前年度より 4.6 ポイント高くなっている状況があり、今後の動向を注視していく必要があります。</p> <p>児童生徒質問紙調査結果からは、小学校では、男女ともに平日に学校の体育授業以外での運動やスポーツをする時間が長く、1 週間の総運動時間も全国より長い。中学校では男女ともに曜日によって運動時間に差がみられるものの、1 週間の総運動時間は、男女ともに、全国と比較すると若干長い状況です。小中学校ともに運動部に所属している割合が低い傾向にあります。</p> <p>学校質問紙調査結果については、体力、運動能力向上の取組は、小中学校いずれも全国より積極的に進められており、授業以外の運動時間確保や生活習慣改善の取組は全小中学校で積極的に行われております。</p> <p>今後の取組として、「新体力テストの種目を活用した体力づくりの推進」「コーディネーション運動の推進」「新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業の成果の普及」等 6 点について改善策を示しております。</p> <p>以上、第 3 号議案についてご説明いたしました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
委員長	議案第 3 号についてご質問やご意見などございませんか。
委員	一同了承（原案可決）
委員長	次に、報告第 1 号平成 27 年度 A L T を活用した中学校外国語サポート事業（冬季休業）について事務局からご説明願います。
学校教育課長	生徒の学力の向上と国際理解を図るため、ALT による課外事業を実施し、生きた英語とコミュニケーション能力の向上や、英語の苦手意識の克服等、授業では補えない学習を行うことを目的として実施をしております。実施期間は、中学校の冬季休業中でありまして、実施状況につきましては、この冬休みについては市内 8 校、合計 76 名の生徒が参加をいたしました。

	<p>実施内容でございますが、ALT が実施校の担当教諭と打合せを行い、授業案を作成し、担当教諭は生徒への周知、使用教室の手配を行います。</p> <p>実施当日につきましては、ALT がすべて英語で授業を行い、挨拶、会話、ゲーム形式の質問などで進行をしていく形であります。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が YES か NO で答えられる英語の質問をし、その結果などを英語で発表させる。 ・トランプの 1～13 の番号にそれぞれ英語の課題を設定し、引いた番号の課題が出来たら得点が入るゲーム。 ・アルファベット 26 文字の発音を、代表的な単語と身振りを交えて発声し、音ごとの違いを覚えさせる。その後、ALT が発音した単語のスペルを生徒に答えさせる。 ・英語で書かれた課題を実行できたら得点を与え、チームごとに合計得点を競うゲーム。 <p>というような、ALT が実際に学校内の様々なものを活用できるようにということで質問を考えて、ゲーム形式での授業を実施しております。</p> <p>参加生徒のアンケート結果でございますが、今回のような授業をもっと受けたいという生徒が 71 人、英語をもっと話したいという生徒が 58 人となっております。当初の目的は達成できていると感じております。また、英検などの試験対策学べる授業を受けてみたいという生徒も 60 名ほどおりまして、学校で行っている授業への意欲も高まっているものと考えております。</p> <p>この授業については、今年の夏から実施しておりますが。今後も英語を活用した授業を計画し、実施して行きたいと考えております。</p> <p>報告は以上です。</p>
委員長	ご質問等ございませんか。
荒井委員	学校によって授業の時間帯にばらつきがあるのは、どうしてですか。
学校教育課長	冬季休業中における ALT の一時帰国や、学校の様々な行事や部活動がございますので、それらを含めて調整し、各校で実施日や時間帯を決定しております。
佐々木委員	もっと参加人数が増えるといいですね。
明石委員	学校規模によっては少ないように感じます。

学校教育課長	参加人数を増やす手立てとしては、楽しい授業であるという口コミを広めることが考えられます。
佐々木委員	学校毎ではなく、どこかの場所に集合させて実施するのはどうでしょうか。
学校教育課長	学校毎の「この部分を強化したい」という要望や実情を組み入れてALTが授業案を作成していることから、現段階では学校毎に実施している状況であります。
佐々木委員	参加者の集め方は学校の先生が周知しているのですか。
学校教育課長	ALTも含めてチラシを作成しておりますが、実施時間や場所を含めた周知、チラシの配布は先生が行っております。
佐々木委員	先生方は参加していないのですか。
学校教育課長	授業すべて英語で行われるため、先生方は授業を見るという形で、参加はしていません。
委員長	保護者やこれから社会に出る10代の若者が思う、社会に対応する英語の力と、この授業で展開される内容とは合致しているのでしょうか。
学校教育課長	ALTは、紙に書くことや文法よりもまず、積極的に話をするのが大事だと考えておりますので、生徒が自分で質問を作って相手とやり取りをすることに対してのフォローをしております。
	報告第1号（報告済）
委員長	次に、報告第2号平成27年度特別支援教育研修会「学校で生かす場面緘黙児への支援」について事務局からご説明願います。
委員長	平成27年度 特別支援教育研修会について、ご報告いたします。
学校教育課長	報告第2号平成27年度特別支援教育研修会「学校で生かす場面緘黙児への支援」についてご報告いたします。 本事業は、障害のある児童生徒などの理解を深め、1人1人の教育

	<p>的ニーズに応じた適切な指導や支援の充実にについて学び、専門性の向上を目的として例年、この時期に実施しております。</p> <p>本年は、1月12日に実施し、関係者、120名の多くの参加をいただきました。</p> <p>本年度の研修は、「学校で生かす場面緘黙児への支援」というテーマで実施しました。</p> <p>聞きなれない言葉ですが、場面緘黙とは、家庭などでは、普通に会話できるのに、学校等特定の場所で不安や緊張から話すことができないことが続く症状であります。</p> <p>講師は、自らが、4年生の時から24歳ごろまで、場面緘黙であった方ということであり、講演の内容は、自身の体験を踏まえた支援方法を講演いただき、「家庭と学校等場面が違うところで、児童の様子に大きな違いがある場合」は、場面緘黙症状を含めた対応を、良く観察しながら、時間をかけて行うべきとのことでした。</p> <p>参加者の8割強の方から、ためになったとの回答をいただいております。学校等での支援方法についての幅が広がり、理解が深まったと考えております。</p> <p>この研修については、次年度以降も特別支援教育の研修として実施していく予定であります。</p> <p>以上、ご報告いたします。</p>
委員長	ご質問等ございませんか。
佐々木委員	子どもの時に場面緘黙になり、大人になって治るというケースがあるのですか。
学校教育課長	対応の仕方によっては、そのまま引きこもってしまうケースもあります。そういったことも理解し、対処していくことが重要となります。
委員長	<p>報告第2号（報告済）</p> <p>次に、報告第3号平成28年度教育予算について事務局からご説明願います。</p>
委員長	<p>報告第3号（報告済）</p> <p>その他ございませんか。</p> <p>これをもちまして本日の会議を終了します。</p>